

相関係数

		執行額	強化モデル 事業市町村 別実施割合	電話相談執行 額人口あたり	刑法犯検挙 率(%) 2009
Pearson の相関	H21～23の増減率	-.290	-.376	-.237	-.364
	高齢化率	.282	.292	-.048	.491
	完全失業率 2010	-.029	-.274	.257	-.301
	高校進学率	-.128	.009	.186	-.419
	平均余命	-.142	-.061	-.005	-.080
	執行額	1.000	.513	.038	.228
	強化モデル事業市町村別 実施割合	.513	1.000	.084	.424
	電話相談執行額人口あたり	.038	.084	1.000	-.079
	刑法犯検挙率(%) 2009	.228	.424	-.079	1.000
	生活保護実人員(千人当 たり)	-.111	-.185	.335	-.131
	啓発額2	-.164	-.120	.005	-.498
有意確率(片側)	H21～23の増減率	.024	.005	.054	.006
	高齢化率	.027	.023	.376	.000
	完全失業率 2010	.424	.031	.041	.020
	高校進学率	.195	.476	.105	.002
	平均余命	.171	.343	.488	.296
	執行額	.	.000	.399	.061
	強化モデル事業市町村別 実施割合	.000	.	.288	.002
	電話相談執行額人口あたり	.399	.288	.	.300
	刑法犯検挙率(%) 2009	.061	.002	.300	.
	生活保護実人員(千人当 たり)	.229	.106	.011	.189
	啓発額2	.135	.210	.486	.000
N	H21～23の増減率	47	47	47	47
	高齢化率	47	47	47	47
	完全失業率 2010	47	47	47	47
	高校進学率	47	47	47	47
	平均余命	47	47	47	47
	執行額	47	47	47	47
	強化モデル事業市町村別 実施割合	47	47	47	47
	電話相談執行額人口あたり	47	47	47	47
	刑法犯検挙率(%) 2009	47	47	47	47
	生活保護実人員(千人当 たり)	47	47	47	47
	啓発額2	47	47	47	47

相関係数

		生活保護実 人員(千人 当たり)	啓発額2
Pearson の相関	H21～23の増減率	-.214	.142
	高齢化率	.035	-.423
	完全失業率 2010	.688	.290
	高校進学率	-.145	.425
	平均余命	-.559	.078
	執行額	-.111	-.164
	強化モデル事業市町村別 実施割合	-.185	-.120
	電話相談執行額人口あたり	.335	.005
	刑法犯検挙率(%)2009	-.131	-.498
	生活保護実人員(千人当 たり)	1.000	.264
	啓発額2	.264	1.000
有意確率(片側)	H21～23の増減率	.074	.170
	高齢化率	.408	.002
	完全失業率 2010	.000	.024
	高校進学率	.166	.001
	平均余命	.000	.301
	執行額	.229	.135
	強化モデル事業市町村別 実施割合	.106	.210
	電話相談執行額人口あたり	.011	.486
	刑法犯検挙率(%)2009	.189	.000
	生活保護実人員(千人当 たり)	.	.036
	啓発額2	.036	.
N	H21～23の増減率	47	47
	高齢化率	47	47
	完全失業率 2010	47	47
	高校進学率	47	47
	平均余命	47	47
	執行額	47	47
	強化モデル事業市町村別 実施割合	47	47
	電話相談執行額人口あたり	47	47
	刑法犯検挙率(%)2009	47	47
	生活保護実人員(千人当 たり)	47	47
	啓発額2	47	47

投入済み変数または除去された変数^a

モデル	投入済み変数	除去された変数	方法
1	高校進学率		ステップワイス法(基準: 投入する F の確率 $\leq .050$ 、除去する F の確率 $\geq .100$)。
2	強化モデル事業市町村別実施割合		ステップワイス法(基準: 投入する F の確率 $\leq .050$ 、除去する F の確率 $\geq .100$)。
3	電話相談執行額人口あたり		ステップワイス法(基準: 投入する F の確率 $\leq .050$ 、除去する F の確率 $\geq .100$)。

a. 従属変数: H21～23の増減率

モデル集計^d

モデル	R	R2 乗	調整済み R2 乗	推定値の標準誤差
1	.408 ^a	.167	.148	1.8648
2	.558 ^b	.311	.280	1.7150
3	.628 ^c	.394	.352	1.6269

モデル集計^d

モデル	変化					Durbin-Watson の検定
	R2 乗変化量	F変化量	自由度1	自由度2	有意確率 F変化量	
1	.167	9.012	1	45	.004	2.095
2	.144	9.208	1	44	.004	
3	.083	5.894	1	43	.019	

a. 予測値: (定数)、高校進学率。

b. 予測値: (定数)、高校進学率、強化モデル事業市町村別実施割合。

c. 予測値: (定数)、高校進学率、強化モデル事業市町村別実施割合、電話相談執行額人口あたり。

d. 従属変数: H21～23の増減率